

記載要領

道路使用許可申請書

項目	記入方法、注意事項等
1 申請年月日	申請書を提出する日を記載します。
2 提出先	道路使用の許可行為に係る場所を管轄する警察署長名を記載します。
3 申請者	申請者が法人の場合、会社の名称、代表者の氏名、所在を記載します。
4 道路使用の目的	<p>工事・イベント等の名称を具体的に記載します。 (記載例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路工事 ○○丁目路面補修工事、○○交差点改良工事 ・管路工事 配水管布設替工事 ・共同溝工事 ○○共同溝工事 ・祭礼行事 信長まつり武者行列 ・マラソン ぎふ女子駅伝競走大会
5 場所又は区間	<p>実際に使用する道路の場所又は区間の番地名を正しく記載します。 (記載例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○市○○町1丁目1番1号から同2丁目2番2号まで (長さ150m、幅7m)
6 期間	<p>ア 期間 実際に道路を使用して工事等をする必要最小限度の期間を記載します。 (許可行為によって、期間等の扱いが異なるため警察署にお尋ねください。)</p> <p>イ 時間 所轄警察署への事前相談等を行って決めてください。</p>
7 方法又は形態	<p>工事・イベントなどの方法、面積、概要等について記載します。 この欄に書ききれない場合は、「別添のとおり」等と記入し、添付書類に記載します。</p>
8 添付書類	<p>添付書類として必要なものとして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場位置図 ・道路現況図 ・道路使用状況図 ・保安施設、資機材図配置図 <p>等がありますが、詳しいことについては、警察署窓口で相談してください。</p>
9 現場責任者	現場責任者の住所・氏名・電話番号を記載します。
10 道路使用許可証	警察署が記載するので、空欄としておいてください。
備考	
<p>申請書の提出枚数は、2枚必要です。 申請にあたって、作業、工作物の設置、露店などを出そうとする場合は、道路管理者の道路占有許可が必要な場合があります。また、申請時に手数料が必要となります。 道路占有、手数料など不明な点、詳しいことについては、警察署窓口で照会してください。</p> <p>道路使用許可の対象となる行為は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路において工事若しくは作業をしようとする行為 ・道路に広告板、アーチ等の工作物を設けようとする行為 ・場所を移動しないで露店、屋台などを出そうとする行為 ・公安委員会が定める一定の行為（祭礼行事、ロケーション等） 	